

公共空間デザインアドバイザー専門部会の報告

須磨海浜水族園・海浜公園の再整備	
概要	<p>所在地： 須磨区若宮町1丁目、 須磨浦通1丁目（海浜公園）</p> <p>須磨海岸エリアの立地条件および景観等のポテンシャルを活かし、須磨海浜公園エリア全体の魅力を向上させることを目的として、須磨海浜水族園および海浜公園の再整備を実施した。</p> <p>事業を担う民間事業者を公募により選定し、公園の一般園地と、民設民営の水族館、宿泊施設、駐車場、賑わい施設（カフェ、レストラン等の店舗）を一体的に整備した。これらの取り組みにより、市民の憩いの場としての役割と都市型リゾートとしての機能を併せ持つ公園とした。</p>
意見と対応	<p>R2(2020).8 と R3(2021).2 に部会実施（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立体駐車場はアイストップとなる重要な位置に配置されていることから、注意して建物デザインを検討すること。 ・ 水族館などの南側に設置される塀により閉鎖的な印象とならないよう工夫すること。 ・ すまっこ広場は北側駐車場の見え方に配慮したほうが良い。 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場については、北側の歩道沿いにおいて、既存樹木を保全するとともに桜や松などの植栽を行い、また、ルーバーの壁面とすることで圧迫感の軽減に努めた。また、水族館等他の建物と色調を統一し、全体の景観との調和を図った。 ・ 塀は、建物と統一した明るい色調とし、塀の南側に松を植栽し、海岸部分の既存の松も含めて、公園全体の松林に連続性を持たせた。将来的にこれらの松が成長することで、塀の存在感が緩和され、周辺景観になじんでいく計画とした。 ・ すまっこ広場の北側に休憩所を配置するとともに、生垣、高木の植栽を行った。これにより、利用者の視線が広場内の活動や滞在空間に向く構成とした。



JR 灘駅前広場の再整備（南側 先行整備）

概要	<p>所在地： 灘区岩屋北町7丁目 (JR 灘駅南側駅前広場)</p> <p>「リノベーション・神戸」の一環として取り組む駅前空間再整備事業の1つで、JR 灘駅前広場（南北）のうち南側を先行して整備。</p> <p>駅から周辺施設へのスムーズな歩行者動線を確保するとともに、駅前空間として必要な交通機能を満たした広場を整備。また、ミュージアムロード中間点でもあるため、魅力的なデザインの、まちの「顔」となる空間として整備した。</p>	
	意見と対応	<p>R2(2020).10 と R4(2022).2 に部会実施 (意見)</p> <ul style="list-style-type: none">・特徴的な屋根は、南側の県立美術館へ歩行者を導く動線が作れるよう、柱の本数や配置を工夫すると良い。・駅前には、人が最短距離で移動したい動線となる空間と、憩い・滞留する空間があるため、その点を意識して整備すること。・北側の整備にあたっては、南側との連続性を意識し、南北で一体感のある整備を検討すること。 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none">・屋根の整備にあたっては、柱の本数を、構造上必要最小限とし、動線や視線の抜けを考慮した配置とした。・主要な動線を明確に確保しつつ、その動線を妨げない位置にベンチを設け、滞留空間を創出した。・灘駅前広場は南北を一体として基本設計を行っている。今後、北側の詳細設計を進める際にも、南側との連続性を十分に意識し、一体感のある整備を検討する。

ポートアイランド（第2期）中央緑地軸再整備

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">概要</p>	<p>所在地： 中央区港島南町1・6丁目 中央緑地軸</p> <p>ポートアイランド・リボーンプロジェクトの第1弾。近隣企業従業員・研究者等の交流拠点の場をつくることを目的とし、シンボリックで緑あふれる高質な滞在空間となるよう再整備を実施した。</p>	
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">意見と対応</p>	<p>R6(2024).7に部会実施 (意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全体のエリア計画を検討した上で、緑地計画は民間敷地にある緑や管理の在り方も踏まえて検討をすること。 • 休憩施設は、利用者にとってどのような視点場になるのか、周辺状況（ビオトープ）等を確認してその配置を検討すること。 • 盛土・植栽計画は、風の流れを調査した上で検討をすること。 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトの範囲であるPI2期において、公共空間の緑を充実させることで、高質な空間の形成を目指し、中央緑地軸の他、各所で街路樹の植替え・補植などを進めていく。 また、島内の企業等と緑化と、それによるエリア価値の向上等について共有するため「緑化ビジョン」を検討する。 • 休憩施設は、利用者がビオトープや木々、さらに六甲山系の山並みを望むことができるよう配置した。 • 「山、再び海へ」「築山と水辺で山と海が近い神戸ならではの風土を再生する」のコンセプトを基に、六甲山系からポートアイランドの緑の繋がりを意識し、周囲からの卓越風をいなすことができる地形および植栽とした。